

みんなのギカイ

3月の市議会の内容をわかりやすくおしらせします

目次

- Pick up P 1~
- 一般質問..... P 4~
- きかせて!あなたの未来
..... P 7



3月定例会

宇陀市のこんなことが決まりました。

3月定例会 3月2日～3月24日
今回の議案は

市長提出議案 …… 29件
人事 …… 6件
計35件

今号ではこの中から3つを
Pick up

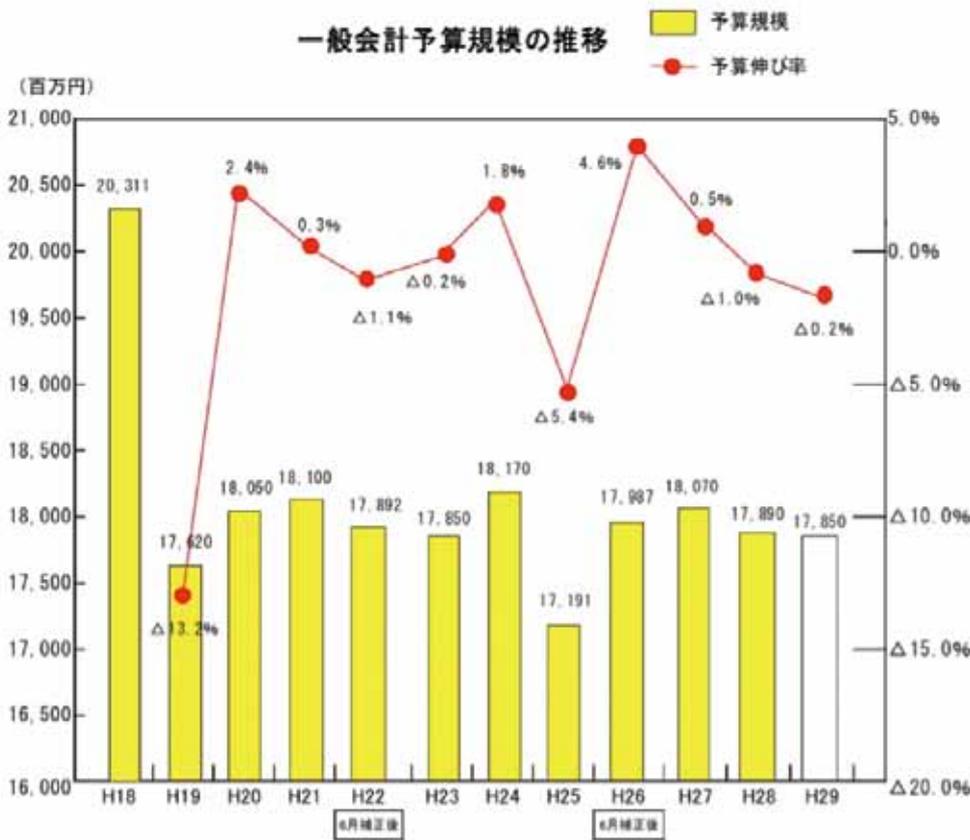
全ての議案名と結果は、議会事務局
にお問い合わせ下さい。

Pick up 1

平成29年度の予算が成立いたしました。
予算総額178億5千万円となりました。

平成29年度の予算を議決いたしました。一般会計では178億5千万。地域資源を活かして育てるまちづくり、暮らしやすく交流が盛んなまちづくり、地域が連携した安心・安全なまちづくりを推進するための予算が成立しました。

一般会計予算規模の推移



こんな意見が出ました

Q 住民票等がコンビニエンスストアで受け取れるようになりませんが期待される効果を教えてください。

A 全国各地にあるコンビニエンスストアで住民票・戸籍謄本等が発行できるようになります。あわせて交付時間の延長（午前6時半から午後11時まで）がはかられます。これによって市役所窓口の混雑の緩和、待ち時間の短縮が期待されます。コンビニ交付にはマイナンバーカードを使用します。将来的には市役所窓口よりも安価な費用で発行事務ができるようになります。

Q 宿泊事業者誘致事業は平成29年度はどのようなことをするのですか。

A 詳細部の検討をし概算事業費の算定もおこないます。古墳調査（直径10数メートルの円墳）をするとともに、平坦面、水田（遺物、散布地、土器）を試掘します。

Q 榛原駅前の施設整備は、パートナーとして予定していたJAが事業に参画しないことになりました。今後事業を進めるのですか。

A 事業主体は市であり、駅前施設整備を進める方針に変わりはありません。

地域福祉拠点施設整備事業については様々な質問が出ました

Q 介護予防は天満台地域だけの課題ではなく市全体の課題です。特定地域に限定した事業ではなく全市的に事業を進めるべきではありませんか。

A 天満台及び周辺地域の高齢化率は39.45%になっており、今後更に高齢化は進んでいきます。モデル地域として今後の介護予防、健康づくり事業を進めます。

Q 新しく作る施設と集会所、コミュニティ施設との違いはどこにあるのですか。

A 規模的には大きな施設ではなく多目的に、特定の事業だけに使う施設ではなく、何でも利用できる形態を考えています。福祉施設である事を銘打って皆様に集まっていたら、市としての取り組みを行っていきます。

Q 議会に示されているのは施設の基本構想概要版ですが、完全版を出してください。

A 完全版は概ね完成していますが、まだ手直しが必要です。

Q この事業は介護予防事業です。国の補助金を充てることはできないのですか。

A 民間で行う事業所には補助金が出る場合もあるのですが、行政が行う介護予防教室、介護予防の施設の建設に補助金が出たことはありません。よい財源・補助金があれば検討していきます。

平成29年度一般会計予算に附帯決議を付けました。

予算審査特別委員会は予算審査の結果、榛原天満台地区に設置予定の地域福祉拠点施設について、施設の基本構想がまだに完成されておらず、今後の全市への事業展開についても明確な説明がされなかったため、市議会に対して今後の計画が示されるまで、予算の執行停止を求める附帯決議を付すことといたしました。

「議案 18号 平成29年度宇陀市一般会計予算について」附帯決議

地域福祉拠点施設整備事業については、あらためて市議会において全市的な計画が示されるまで、関連する予算の執行を停止するよう求める。

Pick up 2

宇陀市総合計画条例が制定されました。

本条例については、総合的かつ計画的な行政運営の指針を示す事を目的としています。

こんな意見が出ました

委員の構成について「市議会議員」が入っているが、行政と議会の観点からすれば、事前審議となりませんか。

基本構想の策定において、過去の策定に対する検証や必要事項に対する変更などのご意見を頂く仕組みを考えさせて頂いています。

議会の代表としての位置付けとなれば、議会代表としての意見ができるか、現実的に厳しい部分があると思われませんかかですか。

A

総合計画という市の方針や、市の将来を策定する市民の代表として、議会が策定にかかわってもらうことが大切との認識を持っております。



Q

審議会の構成員の項目中、「その他市長が必要と認める者」となっていますが、どの様な方を考えているのですか。

A

「市長が必要と認める者」については、後期基本計画の段階で、公募委員として4名を募集しました。よって、市長が認める者については、公募委員を想定しております。

Q

第13条（議会の議決）中において、「軽微な変更」となっていますが、誤記についても軽微な変更との答弁でしたが、変更ではなく訂正ではありませんか。

A

訂正であったとしても、変えるという意味では変更と表示しても良いと思っております。

その他、各委員より多数の質問と意見が出されましたが、委員構成については、市議会議員を除く修正動議が出され、審議の結果、市議会議員を除くことで可決されました。

Pick up 3

地域包括支援センター条例が一部改正されます。

主任介護支援専門員（主任ケアマネージャー）の資格について新たに「主任介護専門研修又は更新研修を修了した日から起算して5年を超えない期間ごとに主任介護支援専門員更新研修を修了しなければならない」とされました。

こんな意見が出ました

主任ケアマネージャーはどの様な資格で、包括支援センターではどの様な業務に携わっていますか。

A

ケアマネージャーの実務経験が5年以上ないと受けられない資格です。利用者のケアマネジメントをはじめ他の保健医療福祉関係事業所との連絡調整、ケアマネージャーへの指導や助言、研修会などの企画を業務としています。

Q

主任ケアマネージャーの給与体系はどの様になっていますか。

A

役職ではなく資格であるため一般職と同じです。人事考課制度の中で考慮しており、昇格や昇給という形で給与に反映します。

一 般 質 問

聞いてみたいな
こんなこと



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

議会中継が より見やすくなります。

市議会本会議をうだちゃん 11 で生中継しておりますが、放送設備を老朽化の進むアナログ放送用の機材からデジタル放送に対応した機材に更新することになりました。
デジタル放送に完全対応することによって今までよりも鮮明に、資料なども見やすくなります。



近鉄榛原駅周辺地域に関する 拠点づくりについて



にしうらまさのり
西浦正哲議員

Q

① 駅北から駅南へと通じるアクセス道路について② 駅南側複合整備計画に対する市長としての今後のビジョンについてお聞かせください。

A

① 長谷寺7号踏切の危険性については、かねてより指摘頂いている問題であり、特に、東町西峠線開通後、大宇陀・菟田野・室生方面のアクセス道路の必要性を痛感しており、構想している道路実現には数多くの問題があり、実現に向け、鋭意取り組んでいきますので、市民の皆様のご協力をお願いしたいと思っております。

② 奈良県との連携協定においても、近鉄榛原駅周辺地区での取り組みとして、駅前整備をあげており、萩原12号線道路改良と複合施設整備について、平成29年度予算にも計上しております。緊急車両のスムーズな通行により、地域住民の安心・安全な暮らしに寄与できる道路として、商業サービスへの貢献・賑わい創出としての役割を果たすと考えています。

高齢者の方が、そしてそのご家族が 安心して暮らせるまちづくりについて



まつうらりくこ
松浦利久子議員

Q

高齢者の方が行方不明になられた場合の市の捜索体制はどの様にとられていますか。そして認知症の方の行方不明者を出さないための対策をお聞きます。

A

必ず警察に届け出をして頂き、事件性がなければ総務課が担当し、関係課、医療介護あんしんセンター、各地域事務所等と連携し捜索会議を開催します。ご家族からの協力依頼や公表の同意が得られた場合、安全安心メール、自主放送、ホームページに配信又は掲載を行います。認知症の方への対策はご家族が本人を一人にさせない事、ご近所の方等に本人が認知症である事を隠さず伝えて頂き、見守り等の協力をして頂ける体制が必要です。今年度は「徘徊あんしん登録制度」(仮称)を開始の予定で、また利用料の助成がある「あんしん介護見守りGPS事業」が開始されます。

● コメント

その他、高齢者の方の交通安全対策や、今後の公共交通、コミュニティ交通について質問しました。

宇陀市のような山間地域で都会の子共達と変わらない教育環境の充実を！

Q
市内小・中学校の教育環境の整備について今後どのように進めていこうと考えておられるか。

A
ICT(情報伝達技術)環境を市内の学校で整備しタブレットなどを用いてデジタル教材の活用や日本国内外の授業の交流、外国の方と直接英会話を学習できるなど都会の子共達と変わらない教育環境の整備をできるだけ早く計画し実行していきたいと考えている。

Q
小・中学校でプール設備の整っていない学校があるが今後の計画は。

A
プールの授業は「自分の身を守る」といった点からも非常に重要であると考えている。現在は宇陀市室内プールで一般の利用者と共に利用してもらっているが今後は児童、生徒が中心に活用できるプール設備の新設を視野にいれ検討・計画していきたいと考えている。



やまもと ゆうき
山本裕樹議員

手話言語条例の制定について

Q
2006年の国連総会において「障害者権利条約」が採択され、手話が独立した言語として明記された。国内でも2月末現在で、74の自治体で手話言語条例が制定されている。障害者を支援する「あいサポート運動」を推進する宇陀市としても、同条例を制定すべきではないか。

A
聴覚障害(ろう)者が、医療、教育、就労等で社会参加するためには相当な困難があることを認識し、これを解決するために市では平成18年度から手話通訳派遣事業を実施してきた。また、市役所内での手続、相談支援のため、平成21年度から窓口到手話通訳者を設置し、設置時間数も徐々に拡大している。手話への理解促進、使用しやすい環境の構築、社会参加等を目指す「手話言語条例」の制定については、県条例の趣旨も踏まえ、聴覚障害者団体等の方々の意見も伺いながら調査検討してまいりたい。

- その他の質問事項
歴史文化資料館(仮称)の整備について



やぎかつひこ
八木勝光議員

再度問う、中学校のクラブ活動への支援について

Q
中学校のクラブ活動に対する外部指導員制度導入についてどのように検討、調整してきたのか。

A
学校教育法に基づく学校職員に位置付ける省令を今年4月1日付けで交付されます。今回法令上で、外部指導者の立場が明確になった為に、宇陀市に於きましても教育意義から逸脱しないように注意しながら、国県の動きに即応する形で取り組んでいきたいと思えます。

Q
部活動の帰宅便については今後検討課題として調整を図ることであったが、今だ実施できない課題と今後への取り組みについて。

A
公共交通機関の運行状況、生徒数、学校数、スクールバスの保有数、道路・地形的な条件等を総合的に勘案し、教育行政執行の中においては状況を注視していく必要があることと考えています。



みやしたこういち
宮下公一議員

「部落差別解消推進法」の取り組みについて

Q
昨年12月9日に成立した、「部落差別解消推進法」制定の意義と、今後宇陀市として、部落差別根絶にむけてどのように取り組んでいくのか示されたい。

A
部落差別の早急な解消こそ、国の責務である。部落差別が現存するかぎり行政は積極的に推進しなければならないと考えます。基本的人権を保障し、国民一人一人が自分の課題として、同和問題を人権問題という本質から捉え、解決に向けて努力する必要があります。

今回成立した、「部落差別解消推進法」は全6条からなる理念法で、部落差別が今も依然として存在していることを認識し、その解消の必要性を法の目的に明記されたことが、大きな意義と捉えます。今後も法の意義をふまえ、市民や市職員の意識啓発の向上、各種集会や人権セミナーの充実、「なら人権相談ネットワーク」への相談員研修や情報交換の積極的な参加、さらには調査業務などの対応及び必要な人的配置など法の趣旨に則り検討実施してまいります。



きくおかちあき
菊岡千秋議員

若者が参加・活躍できる取り組みについて

Q

職員のバランスに偏りがあると思われ
ますが、全体のバランス、適正配置の観
点から対処施策はありますか。

A

平成28年4月1日現在の宇陀市の普通会計職員数は365人で
職員の平均年齢は47.3歳と県内市町村の中でも河合町と並
んで最も高い平均年齢となっています。

これまでは、職員数の適正化に向けて採用を抑えてきた結
果、職員の8割が40歳以上という年齢構成となっており組織
力を強化していく為には、職員の適正化と職員の年齢構成の
バランスを是正することが急務の課題であります。

職員採用は、これまでも退職者数と年齢構成を分析し、年次
計画を立てて行っておりますが、年齢構成バランスの是正も
必要である事から、平成27年度の採用から不足している20歳
代を新卒採用で、30歳代を定住促進策としてのUIターン採
用枠を含めた即戦力である職務経験者の採用を行っている
ところです。本年度の退職者は20名で、新規採用予定者は10
名です。



にしおかひろやす
西岡宏泰議員

防災公園と宿泊施設誘致につ いて

Q

どうして今、防災公園と宿泊施設誘致を
行うのか。

A

宇陀市は、誕生から12年が経過し、雇用の創出、自主財源の
確保に繋がるものと総合的に判断し、本市がさらに飛躍する
ために、将来のあるべき姿をしっかりと見据えたうえで、公園
整備事業と宿泊事業者誘致事業を一体的に捉えて事業を展
開する必要があると考えております。遊休地の活用による住
環境の改善、道路建設による利便性の向上、就業の場、日帰り
温泉など福祉の向上に必ず寄与するものと考えております。
公園整備は、「オープンスペース」を最大限活かした防災を主
目的とした公園の整備を目指しますが、平時での利用がほと
んどであることから、「憩いの場の形成」「地域の賑わいの場」と
して整備をするか検討して参ります。宿泊事業者誘致事業は、
地域雇用の創出や、来訪人口の増加により「ひと・もの」が循
環し、宇陀市が活性化する、また、遊休地の活用による住環境
の向上など、市が元気になる起爆剤となることを大いに期待
しております。



ひろざわたくひで
廣澤孝英議員

地方創生、県やロート製薬と の各連携の取組について

Q

県と市の包括協定締結に基づく市内4地
区の拠点となるまちづくりの取組の進捗
状況と今後の流れや県の支援について

A

県の方針と合致する取組であれば県も支援し協働で実施す
るもので、4地区の検討協議会での協議をふまえ、基本構想
がまとまり28年度中に県と基本協定を締結。29年度は地区単
位の具体的な基本計画を検討協議会等で協議・策定、その後
は事業別の個別協定の締結へと進む。庁内プロジェクトチ
ームを組織、4地区に在住職員など地域との合意形成がスム
ーズに図れるよう全庁的に取組んでいく。

Q

地方創生期間と終了後の32年度以降の財政運営の取組について

A

総合戦略期間は創生事業費が創設、交付されている。また、
合併特例債の発行期限は32年度まで、その後は財政運営が
厳しくなるが、代替え支援を要望していくことと過疎対策事業
債の活用をする。県、ロートとの三者協定で「大和高原しごと
づくり事業」は、新たな宇陀市モデルをめざし移住起業家の
支援と雇用創出、産業振興の促進を図る。



ただよしろう
多田與四朗議員

教育機会の確保について

Q

昨年の国会において不登校の子供の学校
外での学びを支援することを明記した「教
育機会確保法」が可決、成立しました。既存の学校ではなく、フ
リースクール等に通学を希望する生徒に対してどのような支
援を考えていますか。

A

フリースクール等民間施設で学び、本人や保護者の希望もあ
り適切と判断される場合は、平成15年に文科省より出された
文科初第255号において「不登校への対応の在り方について
(通知)」の中で「不登校児童生徒が学校外の公的機関や民間
施設において相談・指導を受けている場合の指導要録上の出
欠の取り扱いについて」に則り、その施設が児童生徒の自立を
助けるうえで有効・適切であるかを判断することが大切である
と記載されており、その事業運営の在り方と透明性、相談・指導
の在り方、相談・指導スタッフについて、施設・設備について、
家庭との関係について等を学校・教育委員会と連携をとりな
がら、当該スクールと学校の連携を図っているところです。



かついたろう
勝井太郎議員

きかせて！あなたの未来

No.8

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。



今、私は韓国語を習い、それと同時に英語の勉強も一生懸命頑張っています。最近、「世の中には自分が知らない世界がたくさんあって、いろんな考え方の人がいる」と人との繋がりや出会いをきっかけに感じるようになりました。小さい頃に兄の影響を受け、始めたダンス。ダンスは自分の気持ちを表現することも出来ると思います。そんな大好きなダンスと、外国語でもっともっといろんな人と出会い、たくさんのことを学び、私の知らない世界を知りたいです。そして、笑顔大切に、今ある日々を大切に、周りの人を大切に、輝ける未来を築いていきたいです。

まつだ ゆうゆ
松田 侑夕さん (室生中学校3年生 14歳)

募集します!
きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて!あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。
今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか?
住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真を添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。
年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

次回 6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
				6/1	2	3
4	5 本会議 (議案提案)	6	7	8 本会議 (議案質疑)	9	10
11	12 常任 委員会	13 常任 委員会	14 予算 委員会	15	16	17
18	19	20 本会議 (一般質問)	21 本会議 (一般質問)	22	23 本会議 (討論・採決)	24
25	26 予備日	27	28	29	30	

10：00開会 (変更の場合があります)

編集後記

編集委員長
勝井太郎

編集委員会の委員が毎号持ち回りで編集後記を書いていましたが、前月号で一巡をして、2回目の編集後記を書いています。
今年度は9月議会をめどに議会中継の放送機材をデジタル放送に完全対応する機材に更新することになりました。これにより、今までよりも鮮明な画面で資料などを見ていただけるようになる予

定です。
議会広報誌の「みんなのギカイ」そして、「うだチャン11の議会放送」を通じて、議会のリアルを皆様にお伝えしていきます。どうぞ、よろしくお願い致します。

お問い合わせ(議会事務局)
電話 0745-82-5771
IP電話 0745-88-9082
FAX 0745-82-0139

宇陀市ホームページ
<http://www.city.uda.nara.jp/>